

達成度：H30.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 住民協働課の目標（平成29年度）自己評価書

住民協働課長 清宮 高由起

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 住民活動団体の支援</p> <p>地域の活性化や課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付や、井戸端（酒々井町交流サロン）・ミーティングルームなど活動拠点の支援により住民活動団体の活性化を図るとともに、住民活動団体交流会を通じてその活動状況を広め、団体同士の連携強化を図ります。</p> <p>また、住民活動団体のNPO化に向けた支援を強化します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民公益活動補助金（団体提案型）を6団体へ交付することにより住民が行う自発的な公益活動である住民活動を支援することができました。</li> <li>・交流サロン「井戸端」の公益性のある団体活動が定着してきました。</li> <li>・住民活動団体交流会を開催し、24名、16団体の参加がありました。</li> <li>・第5回輝く創年とコミュニティ・フォーラムを開催し、分科会では、町内外の先進事例を学び、質疑応答等が交わされ、まちづくり意識の向上や、他市町村との住民交流も図られました。また、基調講演、シンポジウムでは、様々な提言をいただき今後の構想や活動のヒントとなりました。</li> <li>・生涯学習課と「盛年式」を開催し、住民活動団体の紹介等を行い、参加者へ住民活動への参加を呼びかけました。</li> </ul>
<p>2 住みよい地域づくりの推進</p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、住民と行政との協働による地域づくりを一層推進していく</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会に自治振興助成金を交付しました。（36団体）</li> <li>・行政連絡員を各地域（39地区）で委嘱し、自治会と行</li> </ul>

<p>ため、自治会等の運営について支援します。 また、地域担当員が自治会等との連携が図れるよう支援します。</p> <p>3 協働意識の普及と啓発 公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、住民等との協働のうえに成り立つという意識を持ち、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会や研修会を実施します。 また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業を推進します。</p> <p>4 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援 高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p>5 男女共同参画社会形成の促進 男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p> <p>6 地区集会所等への補助 各地区の集会所等に対して管理費、修繕費、増改築費、建設費等について助成します。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>政のパイプ役として活動していただきました。 ・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係を築くことができました。</p> <p>・協働のまちづくりを推進するため、講師（相模女子大学人間社会学部 社会マネジメント学科教授 松下啓一氏、関東学園大学経済学部経済学科教授 中村正明氏、ふるさと財団会長、前市町村アカデミー学長 林省吾氏）による協働のまちづくり研修会を3回開催しました。</p> <p>・住民と行政の協働活動として、地域の公園等の環境美化を目的とした公園等愛護活動を実施、公園数20か所、14団体の協力を得られました。</p> <p>・町が資材及び機材等を支給し、住民自らが施行する資材支給事業により、農道整備等4箇所の環境改善を図ることができました。</p> <p>・補助金として140万円を交付しました。</p> <p>・千葉県男女共同参画地域推進員事業（北総地域）の参加運営協力をしました。</p> <p>・各地区集会所に対して管理費補助金を交付しました。（29施設）</p>
--	-------------------------------------	--

<p>7 チャレンジ目標</p> <p>① 協働のまちづくりのあり方の指針となる「協働のまちづくり指針」を検討します。</p> <p>② 地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う拠点の「酒々井まちづくり研究所」の管理運営を行います。また、全国のまちづくり実践者や指導者との学習及び研究の場として「輝く創年コミュニティ・フォーラム」を開催します。</p> <p>③ 自治会活動の円滑な運営に参考となるマニュアル作成を推進します。</p> <p>④ 男女共同参画計画策定の検討をします。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>・上郷自治会館、大崎自治会館、中央台集会所、東酒々井コミュニティセンター、新堀青年館、下台ふれあい館、横町青年館、下宿青年館、中央台ハイツ集会所、上郷自治会館（計10か所）に修繕補助金を交付しました。</p> <p>① 協働のまちづくりを推進するため、講師（相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科教授 松下啓一氏、関東学園大学経済学部経済学科教授 中村正明氏、ふるさと財団会長、前市町村アカデミー学長 林省吾氏）による協働のまちづくり研修会を3回開催しました。</p> <p>② 第1期師範塾生及び住民活動団体交流会運営委員による月1回の「まちづくり研究所」定例研究会（コミュニティ・フォーラム実行委員会と同時開催）において、情報交換、コミュニティ・フォーラム及びイベントの実施について検討・協議しました。また、「第5回輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催しました。</p> <p>③ 自治会活動運営マニュアル作成に向けて、各種資料等の収集を行い、準備を進めました。</p> <p>④ 平成30年3月「酒々井町男女共同参画」を策定しました。</p>
--	-------------------------------------	---